

科目名	キャリアデザイン2						年度	2025	
英語科目名	Career Design 2						学期	前期	
学科・学年	機械設計科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	奥住 智也	教員の実務経験		有	実務経験の職種	電機メーカーにて、機械設計者・管理職として従事			

【科目の目的】

1年次 履修科目「キャリアデザイン1」による、実践的なビジネススキルの知識を元に、実際の就職活動・進学活動での活用と振り返りを行い体得するとともに、就職後に必要な一般常識を含む、ビジネススキルを実践的に学習し理解する。

【科目の概要】

就職後のビジネスの現場で必要となる、スケジュール管理や情報活用術、事例研究などを通じ、行動・人間関係の構築術などのキャリアデザインに必要な知識を学ぶ。就職内定先に将来必要と思われる資格取得に向けて、一般常識や時事問題も含めた幅広いビジネススキルの勉強を行う。

【到達目標】

学生が、学ぶ場（学校など）と会社・社会との違いを認識すること、社会や組織で働くことの重要性を理解したうえでビジネスにおけるマナー、身だしなみ、敬語（尊敬語と謙譲語の違い）、コミュニケーション能力、電話対応、ビジネス文書の作成などビジネスの基本となる事柄と製造業に従事する機械エンジニアとして活動していくために必要な能力（従来技術の習得、新技術に対応する力等）を具体的にイメージできるようになることを目標とする。

【授業の注意点】

自分自身のキャリアに対して自分自身の考えを表現し、就職・進学に向けた準備をする必要がある。授業の遅刻・欠席は厳しく対応する。また、授業時数の4分の3以上出席（オンライン授業含む）しない者は評価をすることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A (総合演習)	総合演習課題で90%以上の正解率である	総合演習課題で80%の正解率である	総合演習課題で70%の正解率である	総合演習課題で60%の正解率である	総合演習課題で正解率が60%未満である
到達目標 B (将来像の構築)	自身の将来像が明確に定まり、実現に向けた行動を起こしている	自身の将来像が明確に定まっている	自身の将来像の方向性が定まっている	自身の将来像が不明瞭	自身の将来像を全く描くことが出来ない
到達目標 C (面接質疑)	面接の質疑で聞き手に共感を得ることが出来る	面接の質疑を単独で完遂することができる	面接時に問われる質問が一部答えられない	面接時に問われる質問の答えがない	面接に必要な敬語を使うことが出来ない
到達目標 D (志望動機)	企業のニーズに合った志望動機を単独で書くことが出来る	志望動機を単独で作成できる	志望動機を他社のサポートを受け作成できる	志望動機を一部書くことが出来る	志望動機を全く書くことが出来ない
到達目標 E (自己分析)	自身の適性を理解し、企業/大学の選考に挑戦している	自身の適性を理解し、企業/大学の選定が済んでいる	自身の適性を理解し、企業/大学の調査を行っている	自身の適性を俯瞰的に理解している	自己分析が出来ておらず、自身の適性が解らない

【教科書】

オリエンテーション時に配布する「実習要項」を熟読のこと。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

授業は、オリエンテーション時の講義、および実技指導時における学生の参加姿勢を対象として評価を行う。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン2			年度	2025
英語表記		Career Design 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己分析	自己表現を完成させ他者へ自身の特徴を説明する	1 自己表現の大切さ	自己表現の大切さを理解する	3	
			2 自己表現の完成	自己分析による自己表現項目を抽出できる		
			3 他者への表現法	自己表現したい項目を他社へ表現できる		
2	志望動機(1)	企業に伝えるべき志望動機を理解する	1 志望動機の基礎	志望動機の基礎を理解する	2	
			2 志望動機の実践演習①	志望動機の作成を行うことができる		
			3 志望動機の実践演習②	志望動機の実践演習②を行うことができる		
3	志望動機(2)	企業視点に立った志望動機を完成させる	1 志望動機の実践演習③	志望動機の実践演習③を行うことができる	2	
			2 志望動機の実践演習④	志望動機の実践演習④を行うことができる		
			3 志望動機の実践演習⑤	志望動機の実践演習⑤を行うことができる		
4	面接試験対応(1)	企業面接に必要なスキルを理解する	1 面接の基礎	面接の基礎を理解する	2	
			2 面接の実践演習①	面接の質疑応答を行うことができる		
			3 面接の実践演習②	面接の質疑応答を行うことができる		
5	面接試験対応(2)	企業面接での自己表現法を理解する	1 面接の実践演習③	面接の質疑応答を行うことができる	2	
			2 面接の実践演習④	面接の質疑応答を行うことができる		
			3 面接の実践演習⑤	面接の質疑応答を行うことができる		
6	一般常識演習	SPI対策となる一般常識を演習を通じて理解する	1 一般常識の理解	一般常識の大切さ/必要性を理解する	3	
			2 一般常識演習	簡単な一般常識を自分事と捉え説明できる		
			3 面接一般質問対策	面接における一般常識の質疑に対応できる		
7	面接試験対応(3)	企業面接での質疑応答を実践する	1 面接の実践演習⑥	面接の質疑応答を行うことができる	2	
			2 面接の実践演習⑦	面接の質疑応答を行うことができる		
			3 面接の実践演習⑧	面接の質疑応答を行うことができる		
8	ビジネススキル	会社見学やインターン、入社後に必要なコミュニケーションや課題解決力を理解する	1 入社後に必要なコミュニケーションスキル①	入社後に必要なコミュニケーションを理解する	3	
			2 入社後に必要なコミュニケーションスキル②	自身の不足点を抽出できる		
			3 入社後に必要なコミュニケーションスキル③	自身の不足点を改善するアクションを考える		
9	キャリアデザイン(1)	仕事で実現したい自身の将来像を考える	1 将来像の構築	仕事で実現したい将来像を理解する	3	
			2 将来像の検討①	仕事で実現したい将来像を考える		
			3 将来像の検討②	仕事で実現したい将来像を具現化する		
10	キャリアデザイン(2)	自身の将来像に必要なToDoを作成する	1 自己実現に必要なアクション①	将来像に近づくためのアクションを考える	3	
			2 自己実現に必要なアクション②	将来像に近づくためのアクションを考える		
			3 自己実現に必要なアクション③	将来像に近づくためのアクションを考える		
11	ビジネス能力検定演習(1)	本学習を通じて学習した内容を総合的に演習し、定着化させる	1 総合演習問題①	総合演習問題①を80%以上正解できる	1	
			2 総合演習問題②	総合演習問題②を80%以上正解できる		
			3 総合演習問題③	総合演習問題③を80%以上正解できる		
12	ビジネス能力検定演習(2)		1 総合演習問題④	総合演習問題④を80%以上正解できる	1	
			2 総合演習問題⑤	総合演習問題⑤を80%以上正解できる		
			3 総合演習問題⑥	総合演習問題⑥を80%以上正解できる		
13	ビジネス能力検定演習(3)		1 総合演習問題⑦	総合演習問題⑦を80%以上正解できる	1	
			2 総合演習問題⑧	総合演習問題⑧を80%以上正解できる		
			3 総合演習問題⑨	総合演習問題⑨を80%以上正解できる		
14	ビジネス能力検定演習(4)		1 総合演習問題⑩	総合演習問題⑩を80%以上正解できる	1	
			2 総合演習問題⑪	総合演習問題⑪を80%以上正解できる		
			3 総合演習問題⑫	総合演習問題⑫を80%以上正解できる		
15	ビジネス能力検定演習(5)		1 総合演習問題⑬	総合演習問題⑬を80%以上正解できる	1	
			2 総合演習問題⑭	総合演習問題⑭を80%以上正解できる		
			3 まとめ	総合演習問題の誤答を確認し理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等